

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
京都金杯	ハンデ	GIII	中京	芝1600m	良想定	瞬発	中荒れ	D

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ケイアイノーテック	藤岡佑	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Smarty Jones	ミスター・ロビン	57	B	B	C	A	E	D	5	消	15
2	ケイデンスコール	岩田康	ロードカナロア	キングマンボ	ハーツクライ	サンデーサイレンス	56	C	C	C	B	E	D	12	消	1
3	ロードマイウェイ	松若	ジャスタウェイ	サンデーサイレンス	ジャングルボケット	トニービン	57	C	B	C	B	E	D	6	消	16
4	ピースワンパディ	福永	ジャングルボケット	トニービン	アグネスデジタル	ミスター・ロビン	56	B	A	A	C	B	B	2	☆	2
5	メイケイダイハード	酒井学	ハードスパン	ダンジグ	キングカメハメハ	キングマンボ	55	D	D	B	B	B	D	10	消	11
6	レッドアネモス	吉田隼	ヴィクトワールピサ	サンデーサイレンス	サクラバクシンオー	プリンスリーギフト	55	C	B	A	C	B	B	13	◎	10
7	スマートオーディン	荻野極	ダノンシャンティ	フジキセキ	Alzao	ノーザンダンサー	57	C	D	C	C	E	E	15	消	9
8	レッドガラン	北村友	ロードカナロア	キングマンボ	シンボリクリスエス	ロベルト	56	C	B	B	B	B	B	3	△1	6
9	ブラックムーン	幸	アドマイヤムーン	ミスター・ロビン	ジェネラス	ニジンスキー	56	D	C	C	C	E	E	16	消	14
10	シュリ	武豊	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Giant s Causeway	ストームキャット	56	B	B	A	B	A	B	1	▲	5
11	ボンセルヴィーソ	鮫島駿	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	サクラローレル	ブラッシング・グルム	55	C	B	B	B	A	B	11	○	7
12	ラセット	加藤	モンテロッソ	ミスター・ロビン	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	55	C	B	C	C	E	D	9	消	13
13	エントシャイデン	川須	ディーブインパクト	ディーブインパクト	サクラバクシンオー	プリンスリーギフト	56	C	B	C	B	E	D	14	消	3
14	タイセイビジョン	石橋脩	タートルボウル	ノーザンダンサー	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	56	C	D	C	C	D	D	7	消	4
15	サトノアーサー	坂井	ディーブインパクト	ディーブインパクト	Redoute' s Choice	ディンヒル	57. 5	C	C	C	A	E	D	8	消	12
16	トリブルエース	団野	Shamardal	ストームキャット	Sunday Silence	サンデーサイレンス	55	C	B	C	C	C	C	4	△2	8

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
前回開催の中京芝は最後まで外差しには傾かずフラット馬場で終了。そこから約2週間開いての再びのAコース開催。コース替わりがないので馬場の内側が劇的に回復するとも思えず、かと言っていきなり外差し馬場にもならなそう。おそらくは前回開催の最終週に似たようなフラット馬場になるんじゃないだろうか。
そんな馬場状態を想定したとして重要になりそうなのは展開か。フラット馬場だけに展開次第で有利な脚質は変わりそうだが、今年の中京記念は出馬表を見渡してもとにかく前に行く馬がいない印象のメンバー構成。どう考えてもスローペース濃厚だと思いますし、もう前に行ける馬が圧倒的に有利なスローペース戦になるんじゃないだろうか。
本命は絶対枠からスムーズな競馬ができれば◎ レッドアネモス が面白そう。もともとマイルの距離で連勝してオープン入りした馬で、母は1200mで4勝のサクラバクシンオー産駒。全姉も1400m以下で活躍しているようにもとの適性は短いところにあるそう。友道厩舎だから距離が持っている感じで、それでも前走のようなタフな2000mは合わなかった。2走前は1800mでなかなか骨っぽい相手に完勝。マイルの距離は合いそうですし、スムーズに運べれば。
REVIEW
先行馬がいないメンバー構成ではあったが、まさかのエントシャイデンが逃げる展開。そりゃエントシャイデンが逃げられるぐらいですからテンのペースは遅かったが、道中ペースは緩まなかったおかげで地力はそれなりに問われた感じ。内枠から完璧な立ち回りができたケイデンスコールが復活の勝利をあげた。

※文字色の意味2021/1/5

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴

中盤が緩まずの平均ペースになりやすい舞台。直線入り口に急坂があり直線も長い。末脚の質も重要。

馬場レベル&バイアス

馬場レベル0でごく普通、開幕週でスローなら内先行有利か。

血統傾向

直線が長くて坂がある横幹距離の舞台。過去のこの舞台の血統傾向を見ても主流血統（+ダイワメジャー）の活躍が目立つ。同舞台で行われていた中京記念の血統傾向を見るとダンジグを持っている馬の活躍が目立っている。

展開

全く前に行く馬がいないメンバー構成。ボンセルヴィーソが逃げる展開になりそうだが、どう考えてもスローペース濃厚。前に行ける馬が圧倒的に有利といえそうだ。

データなど特記事項

特になし。

危険な馬

ケイアイノーテック=安田記念5着のレース結果や内容を見ても今回のメンバーでは能力最上位と見ていいはず。ただ、前半部分でじっくりと乗って後半勝負でなければダメな馬で、いつもの競馬を陣営が指示するなら展開は向かなさうだ。

妙味大な馬

ボンセルヴィーソ=昨年は3回も重賞で好走したが、その全てが全くの人気薄ということにかく潜在的に人気にならないタイプ。ここ2戦は1400mでスピード負けている感じで、以前の重賞での好走パターンもこんなローテからの距離延長だった。今回は同型不在でどう考えても展開に恵まれそう。

穴馬

レッドアネモス=もともとマイルの距離で連勝してオープン入りした馬で、母は1200mで4勝のサクラバクシンオー産駒。全姉も1400m以下で活躍しているようにもとの適性は短いところにあるそう。友道厩舎だから距離が持っている感じで、それでも前走のようなタフな2000mは合わなかった。

想定時計

上3F

下3F

1:33.4

35. 5

34. 3

想定ラップタイム

12. 6 - 11. 2 - 11. 7 - 11. 9 - 11. 7 - 11. 6 - 11. 1 - 11. 6

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ケイアイノーテック	藤岡佑	消	D	5	安田記念5着のレース結果や内容を見ても今回のメンバーでは能力最上位と見ていいはず。ただ、前半部分でじっくりと乗って後半勝負でなければダメな馬で、藤岡佑騎手はNHKマイルカップこそ勝利したがその後は上手く乗れていたとは言い難い。今回は乗りなれた津村騎手から手が離れるのはマイナスですし、いつもの競馬を陣営が指示するなら展開は向かなそうだ。	15	いつも通りに後方から外を回す競馬になったが、それでもさすがにこれは負けすぎ。もう7歳のディーブインパクト産駒ですし、ちょっと衰えが見られる感じが。
2	ケイデンスコール	岩田康	消	D	12	NHKマイルカップで完全に馬場に恵まれて激走して以降は鳴かず飛ばず。全く適性のない中距離などを使われて近3走はマイル以下に戻して復調傾向。ただ、重賞となると相手が強いですし、基本的には控えて差す競馬をするはずなので今回は展開が全く合わない感じがします。隣のロードマイウェイがほぼ確実に出遅れそうなので煽りを喰らう可能性もある。	1	岩田騎手のイン突きが完璧にハマった感じ。条件ベストでスタートを完璧に決めて岩田騎手が完璧に乗ってきた。復調はしているが今回は完璧な騎乗ではあっただろう。
3	ロードマイウェイ	松若	消	D	6	前走は久々に好走で復調を見せたが、外差し馬場や淀みなく流れた展開が向いた感じも。ここ2戦はどちらも最後入れの大外枠が向いた感じがあり、とにかくゲート内でゴソゴソと悪さを見せるので今回の奇数の内枠ではほぼ間違いなく出遅れるはず。展開的に後ろからでは厳しいと思うが、隣枠の馬が上手くゲートを出られなかった場合はこの馬の巻き添えを喰らう可能性も。	16	スタートこそ決めたが後方から大外ぶん回しで何もできなかった。前走はハマった感じがします。
4	ピースワンパラディ	福永	★	B	2	フローラルワーク賞を圧勝した当時から重賞級の素質は見せていた馬。条件戦を勝つのに時間がかかったが、オープン昇級後もマイルでは全く崩れておらず、今回もベスト条件の左回りのマイル戦ならまず上位争いはず。福永騎手ならスローペースまで読んである程度の位置をつけてきそうですし、順当に上位評価でいいと思います。	2	勝負所の手応えはかなり怪しかったが、直線ではじわじわと伸びてきた。いかにもなく長い脚を使えるマイラーで、自身の適性とは異なるところを使ってきた時に怪しさもありそう。
5	メイケイダイハード	酒井学	消	D	10	関屋記念や京成杯オータムハンデで何もできなかったのと比較すればマイルGSはこの時計で走れていれば十分健闘の結果。ただ、中京記念の最低人気激走やそれ以外の勝利実績を見ても、明らかに良縁が阪神コースに集中しており、相当な阪神巧者の可能性あり。相対的に位置が取れそうなる可能性はあるが、ちょっと印は回らなかつた。	11	調教の良さを結果に活かせず。本当に阪神コースしか走らない馬という感じがします。
6	レッドアネモス	吉田隼	◎	B	13	もともとマイルの距離で連続してオープン入りの馬で、母は1200mで4勝のサクラバクシンオー産駒。全姉も1400m以下で活躍しているようにももとの適性は短いところにあるそう。友道厩舎だから距離が持っている感じで、それでも前走のようなタフな2000mは合わなかつた。2走前は1800mでなかなか骨っぽい相手に完勝。マイルの距離は合いそうですし、スムーズに運べれば。	10	ゲートで暴れてしまいスタートを切れなかつた。マイル戦でテンの遅いペースを後方からでは厳しい。本質的にはこれぐらいの距離が合いそうだが、どう使っていくかが難しくなつた。
7	スマートオーディン	荻野極	消	E	15	折り合いが非常に難しい馬で前走は阪神芝1400mで追い込み策がハマるかどうかわらいてしまか走れていない。今回は引退レースになりまずし、先行馬が全くいないので展開も向かなそう。厳しいか。	9	今回で引退となります。
8	レッドガラン	北村友	△1	B	3	大阪城Sでオープンを制した後、低レベルだった新潟大賞典と鳴尾記念で惨敗となったが、どうも距離が長かつた感じ。距離を短くしてここ2戦でパフォーマンスを上げてきており、やはりロードカナロア産駒だけあってマイルぐらいの距離が合うだろう。枠順や脚質を考えても今回のメンバーなら相対的に位置が取れそうですし、ここはある程度評価するべきと見ます。	6	ここ2戦を見てもしロードカナロア産駒なのでマイルが合いそう。母父ロベルトで上がりがかかってこそなので今回は展開が向かず。差しの決まるマイル重賞ならやれていい。
9	ブラックムーン	幸	消	E	16	前走の阪神カップはまずまず見所ある内容。ただ、それ以前のマイル重賞でのレースぶりを見ては今更重賞での活躍を期待するのめ酷か。	14	もうさすがに重賞では厳しいそうだ。
10	シュリ	武豊	▲	B	1	ハーツクライ産駒ながら母系のスピードを取り込んでセンス抜群のマイラーに成長。前走はオープン初挑戦ながら展開に恵まれたとはいえ強い内容。中京コース実績もありますし、何よりもスローペース濃厚で前に行ける点は評価して良いはず。ボンセルヴィーソが逃げる2番手あたりで競馬ができそうですし、順当に上位評価でいいんじゃないだろうか。	5	道中ペースが流れて負担が大きくなった影響か最後にのびあぐねた。初戦はオープンレベルの馬だった感じで、ちょっと人気になりすぎていたのかも知れない。
11	ボンセルヴィーソ	鮫島駿	○	B	11	昨年は3回も重賞で好走したが、その全てが全くの人気薄ということにく潜在的に人気にならないタイプ。ここ2戦は1400mでスピード負けしている感じで、以前の重賞での好走パターンもこんなローテからの距離延長だった。今回は同型不在でどう考えても展開に恵まれそうですし、スローペースを先行すれば再び穴を開けてもいいんじゃないだろうか。	7	番手からはほぼ完璧な競馬ができていたが伸び負け。昨年の京都金杯、ダービー卿、京成杯AHのように差し馬の末脚が剛がれる馬場や展開に恵まれないと。。。という感じが。
12	ラセット	加藤	消	D	9	とにかく溜めて一瞬の脚を活かしてこそ馬。夏の米子Sと中京記念の連続好走は馬場も秋山騎手の騎乗も完璧にハマった感じ。ポートアイランドSでは加藤騎手が早めに動いた結果、最後に脚が止まっていたし、それを踏まえて前走はとにかく溜めての直線勝負になっていた。今回はどう考えても先行馬が少ないですし、前走と同じような競馬をするなら展開が向かない。	13	ちょっと色気を持って乗ってしまったて終いが活かせず。この馬は加藤騎手じゃなくて秋山騎手に乗ってもらって溜めに溜める競馬をした方がいい感じがします。
13	エントシャイデン	川須	消	D	14	失作厩舎らしく使って使って良さを引き出していった感じで、夏にはキャリアハイの絶好調期を迎えていた感じ。その最大のチャンスだった関屋記念である意味川須騎手らしい何の工夫もない大外ぶん回しでチャンスを通した印象。その後は下降気配ですし、今回は先行馬がなくてどう考えても展開が向かなそう。外枠の追い込みタイプは厳しいだろう。	3	スタートの良い川須騎手とは言えまさか逃げるなんて1ミリも思っていなかつた。道中で割んだラップを考えてもこれ以上ない完璧な騎乗だったか。
14	タイセイビジョン	石橋脩	消	D	7	キャリアを積むにつれて徐々にタートルボウル産駒らしく持続力タイプに変化しつつある感じで、それに加えて母の血が出てきてマイルでは距離が長くなった印象。マイルGSでも富士Sでも最後に脚が鈍っていますし、現状ではマイルの距離は長いだろう。今回はスロー濃厚で位置取りにいく可能性がある石橋騎手というのはプラスだが、それでも厳しいか。	4	先行した上でキレも間われない最高の展開になったか。それでも折り合いを欠いていたあたりは距離が若干長いだろう。ここで微妙に好走してしまったので次走注目馬からは外す。
15	サトノアーサー	坂井	消	D	8	だらっと伸びてくるタイプの馬で、スパッとはキレないので新潟記念は舞台適性が完璧だったか。イメージの割に非力なタイプで坂のあるコースはマイナス。もう明け7歳のディーブインパクト産駒になりますし、先行馬不在のレースで大外枠から追い込むというのも厳しいそうだが・・・	12	展開が向かなかつたのは確かだが、それにしてもちょっと負けすぎな内容。もう7歳のディーブインパクト産駒ですし、ちょっと衰えが見られる感じが。
16	トリプルエース	団野	△2	C	4	ゴドルフィン生産のシャマール産駒の良馬ということもあって早期からそれなりに活躍していたが、前走は+20kgの馬体増で明らかに成長したという感じの勝ちっぷり。福永騎手のスタイルから言ってもピースワンパラディの方は先約だったからあちらに乗っているだけで、もし退けるならこちらに乗っていた可能性も。先行策を示唆していますし、団野騎手がまともに乗れば。	8	先行策を示唆していたが、大外枠で位置を取れず。最後は外から伸びてきて完全に脚を余していた。準オープンの内容からもマイル戦でスムーズな競馬ができれば重賞でも通用していい。